

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月5日
【事業年度】	第15期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	株式会社マーベラスAQL
【英訳名】	Marvelous AQL Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 許田 周一
【本店の所在の場所】	東京都品川区東品川四丁目12番8号 品川シーサイドイーストタワー5階
【電話番号】	03-5769-7447
【事務連絡者氏名】	取締役 山角 信行
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川四丁目12番8号 品川シーサイドイーストタワー5階
【電話番号】	03-5769-7447
【事務連絡者氏名】	取締役 山角 信行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年6月22日に提出いたしました第15期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。なお、連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(2) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

（訂正前）

回次	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
決算年月	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月
現金及び現金同等物の期末残高（千円）	1,334,636	1,109,020	874,509	1,749,836	<u>7,179,272</u>

（注）（省略）

（訂正後）

回次	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
決算年月	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月
現金及び現金同等物の期末残高（千円）	1,334,636	1,109,020	874,509	1,749,836	<u>5,979,272</u>

（注）（省略）

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、合併により4,072百万円増加したことが大きな要因で前連結会計年度末に比べ5,429百万円増加し、7,179百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,399百万円（前年同期比2.8%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益3,150百万円や負ののれん発生益 2,208百万円の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は435百万円（前年同期は246百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入1,150百万円や無形固定資産の取得による支出 552百万円の計上等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は479百万円（前年同期比101.7%増）となりました。これは主に短期借入金による収入1,754百万円や短期借入金の返済による支出 2,208百万円の計上等によるものであります。

(訂正後)

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、合併により2,872百万円増加したことが大きな要因で前連結会計年度末に比べ4,229百万円増加し、5,979百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,399百万円（前年同期比2.8%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益3,150百万円や負ののれん発生益 2,208百万円の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は435百万円（前年同期は246百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入1,150百万円や無形固定資産の取得による支出 552百万円の計上等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は479百万円（前年同期比101.7%増）となりました。これは主に短期借入金による収入1,754百万円や短期借入金の返済による支出 2,208百万円の計上等によるものであります。

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
	(省略)	(省略)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(省略)	(省略)
財務活動によるキャッシュ・フロー	237,464	479,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,573	1,259
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	875,326	1,356,985
現金及び現金同等物の期首残高	874,509	1,749,836
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4,072,450
現金及び現金同等物の期末残高	1,174,836	1,719,272

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
	(省略)	(省略)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(省略)	(省略)
財務活動によるキャッシュ・フロー	237,464	479,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,573	1,259
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	875,326	1,356,985
現金及び現金同等物の期首残高	874,509	1,749,836
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	2,872,450
現金及び現金同等物の期末残高	1,174,836	1,599,272

【注記事項】

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)
現金及び預金勘定	1,749,836千円	7,179,272千円
現金及び現金同等物	1,749,836	<u>7,179,272</u>
(省略)		

(訂正後)

1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)
現金及び預金勘定	1,749,836千円	7,179,272千円
預金期間が3ヶ月を超える定期預金	-	<u>1,200,000</u>
現金及び現金同等物	1,749,836	<u>5,979,272</u>
(省略)		